共通テスト同傾向の問題



国語(漢文)

押韻の知識を踏まえた出題

押韻の知識と、詩の形式を判別する力が合わせて問われている。

共通テスト

河合塾

第4問 問4

4 3 0 0 33 空欄 「舞」が入り、 |座||が入り、 X に入る漢字と【詩】に関する説明として最も適当なものを、 領聯と頸聯がそれぞれ対句になった七言律詩。 がれた。 けられた 第一句末と偶数句末に押韻する七言律詩 起承転結で構成された七言絶句 形式の制約が少ない七言古詩。 一句の「多」字と対になる七言絶句。 次の 1 6 のうちから一つ選べ。解答番号は

全統プレ共通テスト 第4問 問4

問 4 なものを、 **9 4 3** 2 傍線部B (i) (i) (i) (i) (i) 玉 1 食 失 (ii) (ii) (ii) (ii) 6 X 二 について、 天子の食事もはなやかさを欠いたという 天子の食事も栄養がかたよったという 天子の食事もまずくはなくなったという 天子の食事もぜいたくさがなくなったという 天子の食事も見栄えがしなくなったという のうちから一つ選べ。解答番号は (i) 空欄 X 35 に入る語と、 iiこの句全体の解釈との組合せとして最も適当

共通テスト本試の問題もプレ共通テストの問題も、まず詩と韻が一致する選択肢に絞ることが正答の前提である。共通テストは、合わせて詩の形式が問われているのに対して、プレ共通テストは押韻する字を含めた句全体の解釈が合わせて問われている。このように詩の空欄補充の問題では、押韻の知識に加えて、基礎知識や解釈の力なども必要である。